

令和 8 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

※活動年数は、受彰時点のものです。

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	花輪ばやし若者頭協議会 (鹿角市) < 団 体 >	花輪ばやしの出前授業や情報発信を通して後継者育成を図るなど県内文化振興の模範となる取組に尽力している。 活動開始：平成 2 6 年から 1 2 年間 活動内容：①本協議会は、ユネスコ無形文化遺産および国指定重要無形民俗文化財である「花輪祭りの屋台行事（通称：花輪ばやし）」の運行を担う、参加 10 町内の若者会の代表である若者頭 10 名によって運営されている組織である。 ②花輪ばやしの運行を担う若者頭において、少子高齢化による後継者不足という課題を解決するため、平成 26 年から花輪ばやしの保存・継承を目的に「後継者育成事業」を開始。地域や年代を問わず気軽に参加できる仕組みづくりや積極的な魅力発信を行い、地域の伝統文化の振興に大きく貢献している。 ③後継者の確保に向け、当初は花輪地区内の小学校高学年から高校生を対象に祭りへの参加者を募集していたが、平成 29 年度からは参加募集の枠を 41 歳にまで拡大した。 ④また、SNSを活用した情報発信や、学校への「出前授業」といった現代的で開かれたアプローチにより後継者育成に挑戦している点に高い独創性が認められる。 ⑤同協議会の開かれた後継者育成の取組は、少子高齢化や人口減少により同様の課題を抱える県内の他の伝統行事や地域コミュニティにおいて、優れたロールモデルとなり得るほか、国内外からの観光客誘致や関係人口の拡大など、県全体の文化・観光振興への波及効果も期待される。	鹿角地域振興局

令和 7 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

※活動年数は、受彰時点のものです。

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	菊地 昭夫 (神奈川県) < 個 人 >	首都圏に在住する県出身者の交流やネットワークづくりに尽力している。 活動開始：昭和 6 3 年から 3 7 年間 活動内容：①近年、首都圏に在住する県出身者が増加している中、「こうした首都圏に残る秋田ゆかりの地を後世に語り継ぎ、記録しておかなければ、先人を通して秋田とつながるというアイデンティティが失われてしまうのではないか」という問題意識から、10 余年の歳月をかけて、首都圏及び県内各所への取材を自身で行い、その取材の記録を基に、秋田ゆかりの地を綴った「首都圏で秋田を発見する旅」を自ら執筆・編集し、令和 6 年に発行した。 ②県内外を問わず、ふるさと秋田への郷土愛や帰属意識の醸成、本件に関する歴史の普及に資することはもとより、秋田ゆかりの地をきっかけとする世代を超えた交流や首都圏における関係人口の拡大にも寄与し得る。	企画振興部
2	堀回地区 コミュニティ推進委員会 (羽後町) 会長 石垣 俊次 < 団 体 >	住民の健康・福祉の推進、高齢者支援、伝統文化の継承、世代を超えた交流など、多岐にわたる活動に取り組んでいる。 活動開始：昭和 4 9 年から 5 1 年間 活動内容：①昭和 3 0 年代に途絶えていた伝統芸能「元城獅子舞」の復活を支援し、平成 1 4 年には羽後町初の無形民俗文化財に指定され、現在も公演が行われている、 ②自主的な安全・安心な地域づくりに取り組んでおり、特に平成 1 8 年から月 2 回開催している「心とからだの健康教室」は、高齢者の健康増進と住民交流の促進に大きく貢献している、 ③長年にわたる住民同士の話し合いと実践による地域コミュニティの維持活動は、県内の地域活動のロールモデルとされている。	あきた未来創造部 雄勝地域振興局

令和 6 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

※活動年数は、受彰時点のものです。

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	根 田 暁子 (秋 田 市) < 個 人 >	中国残留邦人等が日本へ帰国した後、自立するまでに必要なサポートを20年以上前から続け、自らが地域との架け橋となることによって、県民との相互理解を深め、住みよい地域づくりに貢献している。 活動開始：平成7年から28年間 活動内容：①平成14年の設立当初から携わり現在も事務局長として活動を支えているJCF同路人は、中国帰国者や在日中国人の支援・交流を主としている県内で唯一の団体である。 ②平成18年には日本語教室と交流イベントを定期的を開催し、その活動は、中国残留邦人の高齢化等により規模は縮小しているものの、現在まで続いている。 ③根田氏の思いに賛同したボランティアの参加や、イベントを通じた中国出身以外の在留外国人との交流、また、秋田大学中国人留学生による根田氏の活動への支援など、地域や世代を超えた活動へと発展している。	健康福祉部

令和５年度特別表彰受表彰者名簿

※活動年数は、受表彰時点のものです。

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	首都圏秋田県人会連合会 （ 東京都 ） ＜ 団 体 ＞	県内市町村のふるさと会及び首都圏において結成された秋田県人会等で構成され、研修会や芸能大会など諸事業の実施を通じて郷土秋田県の発展に寄与している。 活動開始：昭和２９年から６９年間 活動内容：①秋田民謡や舞踊など、本県に関係の深い芸能を会員が披露する「芸能大会」を、首都圏における本県文化のＰＲや後世への継承を目的として開催している。 ②同大会を半世紀以上にわたり開催し、首都圏在住の秋田県人が民謡等の芸能を首都圏の幅広い世代に紹介することで、認知度向上はもとより、新たな魅力の再認識や文化の継承においても有効な手段としている。 ③同大会の開催により首都圏での交流人口の拡大に資することはもとより、人口減少が進み、秋田民謡等の様々な文化の継承が課題とされる本県において、これらを後世に伝える機会を創出している。	企画振興部

令和４年度特別表彰受表彰者名簿

※活動年数は、受表彰時点のものです。

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	佐々木 秀雄 (井川町) < 個 人 >	若くして体に障害を負い、身体障害者支援施設で生活しながら、詩画の創作活動を行っている。 活動開始：平成２年から３２年間 活動内容：①２４歳の頃に交通事故により上下肢が不自由となり車椅子生活となったが、ハンディキャップに屈することなく、筆を口でくわえながら水彩画を描く口筆という手法により、絵と詩が融け合う詩画の創作活動を３０年以上精力的に続けている。 ②施設の親友と支え合いながら創作活動を続ける姿が NHK のドキュメンタリー番組で全国放映されたほか、県外の学校等でも氏の作品が展示されるなど、作品と創作活動に対する氏の姿勢が多くの人に生きる勇気と希望を与えている。 ③氏の作品に感銘を受けた方々がボランティアとして「佐々木ひでお口筆詩画応援志隊」を結成し、詩画展の開催などを積極的に支援している。	井川町
2	大潟村案内 ボランティアの会 (大潟村) 会長 石原 敏子 < 団 体 >	大潟村民並びに大潟村を訪れる人々に、八郎潟干拓事業や大潟村の歴史や農業、自然、男鹿半島・大潟ジオパーク等を紹介するため、案内と解説を行っている。 活動開始：平成１４年から２０年間 活動内容：①大潟村が誕生した当時の入植者がガイドとして多数在籍し、自らの体験をもとに八郎潟干拓事業や大潟村開村の様子、村内の農業生産活動について、実地に案内・解説を行っている。 ②男鹿半島・大潟ジオパークが東北で初めて日本ジオパークネットワークに認定された際は、その審査の過程において村の魅力や独自性のアピールに力を発揮した。 ③ジオパーク認定後は、各会員がジオパークに関する知識を習得し、認定ガイド団体としてジオパークの案内も行うなど、幅広く活動を行っている。	大潟村

令和 3 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

※活動年数は、受彰時点のものです。

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	プロジェクト 8 (八郎潟町) 代表 佐藤 友紀 < 団 体 >	歌やダンスなど地域で活躍する方や団体の招聘、地域住民参加型の企画のほか、冬期には八郎潟駅前などに LED のイルミネーションを設置して町の賑わいづくりに取り組んでいる。 活動開始：平成 23 年から 11 年間 活動内容：①夏期開催の一夜市や冬期のイルミネーション設置事業を行っているほか、Youtube への投稿により八郎潟町を楽しむライフスタイルを発信している。 ②八郎潟小・中学校での総合学習の講師としても活動し、地域活性化の取組について講演している。 ③令和 2 年度にはイベントが中止となったものの、地域を盛り上げたいとの強い思いから、独自に寄付を募り花火の打上を実施した。 ④これらの活動により年少者への理解が広がり、後継者の育成や郷土愛の醸成につながっている。	八郎潟町
2	特定非営利活動法人サポートセンター・ビーイング (湯沢市) 理事長 寺門 敏子 < 団 体 >	ふれあいコンサートなどの音楽活動や障害者スポーツの普及活動、障害者の人権に関する啓発活動など地域に根ざした多種多様な活動を実施してきたほか、放課後デイサービス「ビスコーサ」の運営も行っている。 活動開始：平成 17 年から 16 年間 活動内容：①障害者スポーツの普及活動、障害者支援やバリアフリーをテーマとした講演活動、障害者の人権に関する啓発活動などを無償ボランティアとして実施してきた。 ②令和元年に放課後等デイサービスを開設し、通所する児童の健康、福祉の増進に寄与しているほか、障害のある児童を育てる家族に対しても大きな助けとなっている。 ③湯沢市まちづくり総合振興計画策定委員会、湯沢市スポーツ推進審議委員会、湯沢市次世代育成支援対策地域協議会などへ委員として参加するなど、これまでの経験を活かし幅広い分野で活躍している。 ④平成 18 年に秋田県バリアフリー推進賞を受賞している。	雄勝地域振興局

令和 2 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

※活動年数は、受彰時点のものです。

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	狙半内共助運営体 （ 横手市 ） 会長 奥山良治 < 団 体 >	除雪、雪降ろし、有償運送などの「共助活動」を実施することにより、住民がこれからも安心して住み続けられる地域づくりの推進を図る事を目的として活動を行っている。 活動開始：平成 2 4 年から 9 年間 活動内容：①除雪、有償旅客運送などの共助活動の他、福祉施設での野菜の販売等に取り組み、地域の見守り活動や活性化に貢献している。 ②平成 2 9 年度から実施しているミニバンによる有償旅客運送は、県内では初めての取組であった。 ③今年からは 3 0 代のドライバーが新たに参加し運行を担うなど、今後も活動が継続されていくことが見込まれる。 ④地域住民同士が協力して交通手段を確保していく取組として、他地域のモデルとなり得る事例である。	平鹿地域振興局
2	秋田子ども和楽器合奏団 （ 潟上市 ） 主宰 鈴木鈴秋、鈴木静月 < 団 体 >	和楽器の演奏を通して日本文化に親しみながら、子ども達の情操を豊かにすることを目的として、和楽器教室や演奏会等を開催し、伝統文化の継承及び地域貢献活動に取り組んでいる。 活動開始：平成 1 7 年から 1 6 年間 活動内容：①小学生から中学生を対象に、尺八、箏（琴）、横笛、太鼓等を指導している。 ②少年少女を中心とした和楽器アンサンブルを構成する団体は、全国的にほとんど例がなく、我が国の伝統文化の継承や教育の充実に貢献している。 ③和楽器教室、演奏会、研修会等を開催する他、福祉施設慰問により、地域住民との交流や和楽器の魅力の向上にも尽力している。 ④国民文化祭（秋田・山口開催時）出演やハワイ演奏公演、ドイツ演奏交流等大きな演奏活動の実績もある。	秋田地域振興局

令和元年度特別表彰受表彰者名簿

※活動年数は、表彰時点のものです。

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	森吉山麓村興し会 (北秋田市) 会長 池田文明 < 団 体 >	集落単位で行われていた行事を一堂に集めた「森吉山麓たなばた火まつり」や創作バター餅の出来栄を競うコンテスト「BM-1グランプリ」を開催している。 活動開始：昭和62年から32年間 活動内容：①「森吉山麓たなばた火まつり」を、一大観光イベントとして地域に根付かせたほか、住民一人ひとりに役目を割り振り準備作業に参加してもらうことで、住民が地域の一員であることを自覚し、地域に誇りをもつことができる風土づくりにも貢献。 ②「BM-1グランプリ」では、バター餅の人気を一過性で終わらせることなく継続・定着させたほか、特産品に新たな発想を取り込む土壌の形成に成功。	北秋田地域振興局
2	鮎の風実行委員会 (由利本荘市) 会長 小澤 茂 < 団 体 >	偶然目にした旧鮎川小学校の素晴らしさに感銘を受けた小澤会長が、地域住民らとともに組織を立ち上げ、校舎の保存と利活用を図る活動を続けてきた。 活動開始：平成20年から11年間 活動内容：①校舎を活用した交流会を開催し、県外の方にも出演していただくなど、旧鮎川小学校を核とした地域のにぎわいづくりや県内外との交流の実現に貢献。 ②敷地内の草刈り等の美化活動や立木へのイルミネーションの設置などを長年継続してきたことで、「校舎を残したい」という思いが行政にも伝わり、旧鮎川小学校が『木のおもちゃ美術館』として生まれ変わることに繋がった。 ③各市町村単位で食生活改善推進員養成講座を開催するなど、後進の育成に向けた活動も積極的に実施	由利本荘市

平成 3 0 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

※活動年数は、受彰時点のものです。

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	落合鶴亀漫芸一座 （ 五城目町 ） 代表 伊藤一男 < 団 体 >	五城目町内で高齢化率が最も高い落合地域において、歌や踊り、楽器演奏などの特技を持つ高齢者たちが一座を結成し、町内外での公演を通じて、県内各地に元気や笑いを届けている。 活動開始：平成 2 3 年から 7 年間 活動内容：①一座のメンバーが、ハーモニカや大正琴、手品などの芸を披露し、笑いを通して町内を元気にしている。 ②同年代が集う町外の他の地域などでも公演を行い、公演をきっかけに地域同士の交流を深めている。	秋田地域振興局
2	秋田県 食生活改善推進委員会 （ 秋田市 ） 会長 齋藤カズ子 < 団 体 >	生活習慣病予防、食育、高齢者の健康問題等についての普及啓発をするため、講習会の開催やイベントでの P R 等の活動を県内各地で行っている。 活動開始：昭和 3 7 年から 5 6 年間 活動内容：①長年にわたり減塩運動に積極的に取り組んできた結果、県民の食塩摂取量の半減に貢献。 ②ロコモやフレイルなどの予防活動にも取り組む。 平成 2 9 年度は延べ 2 4 万 6 , 1 8 9 人を対象に 5 万 7 , 2 4 4 回の集会や訪問等を実施。 ③各市町村単位で食生活改善推進員養成講座を開催するなど、後進の育成に向けた活動も積極的に実施	健康福祉部
3	伊勢堂岱遺跡 ワーキンググループ （ 北秋田市 ） 代表 佐藤善寿 < 団 体 >	伊勢堂岱遺跡を核としたガイド・情報発信に 2 0 年以上にわたり取り組む、遺跡ボランティアの全国的な先駆けと言える存在。 活動開始：平成 9 年から 2 1 年間 活動内容：①伊勢堂岱遺跡を広く知ってもらうため、住民がボランティアで遺跡のガイドや保存活用、P R などに取り組んでいる。 ②ガイドの勉強会や研修の実施や、ジュニアボランティアガイドの結成など、ガイドの能力向上と子どもたちの関心を高める取組を行っている。 ③伊勢堂岱遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録を目指し、登録推進活動に取り組んでいる。	北秋田市

平成 2 9 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	おなごりフェスティバル 実行委員会 (能代市) 実行委員長 能登 信一 ＜ 団 体 ＞	毎年 2 0 万人以上の観覧客が訪れる、地域最大級のイベント「おなごりフェスティバル」を開催している。 活動開始：昭和 6 3 年から 2 9 年間 活動内容：①「青森ねぶた」、「盛岡さんさ」など、東北の代表的な夏祭りや県内各地の祭りに加えて、首都圏からも団体を招聘し、パレードを行っている。 ②企業や地元自治体の協賛、地元学生のボランティアなど、地域に根ざしたイベントとなっているほか、他地域との交流、地域ブランドの確立、地域イメージの向上など、各方面に影響を及ぼしている。 ③期間中、宿泊施設や地元業者にも大きな経済効果をもたらすなど、大規模な集客により地域の活性化にもつながっている。	山本地域振興局
2	男鹿ナマハゲロック フェスティバル実行委員会 (男鹿市) 実行委員長 菅原 圭位 ＜ 団 体 ＞	地域の活性化を目的に、男鹿市においてロックフェスティバルを開催している。回数を重ねるごとに知名度、動員数、規模も大きくなってきている。 活動開始：平成 1 9 年から 1 0 年間 活動内容：①男鹿市内の若手経営者らを中心とする実行委員に加え、スタッフには地元高校生から高齢者、また男鹿市外の人まで幅広い層がボランティアとして参加しており、地域を巻き込んだイベントになっている。 ②男鹿市観光協会とも連携し、公式宿泊プランを企画するなど、市内宿泊施設、観光施設等に経済効果が出ている。 ③初回は動員数わずか 400 人だったが、試行錯誤を重ね、今では動員数 1 万 2 千人となり、地域における夏の一大イベントにまで成長している。	秋田地域振興局

平成 2 8 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	秋田スカイフェスタ 実行委員会 (横手市) 実行委員長 佐々木 賢祐 < 団 体 >	県内で唯一の熱気球の祭典である「秋田スカイフェスタ」の開催等により、地域貢献活動に取り組んできた。 活動開始：平成 1 8 年から 1 0 年間 活動内容：①熱気球の祭典である「秋田スカイフェスタ」の開催 ②東日本大震災の被災地における、熱気球係留体験の実施 ③熱気球が飛ぶ原理や横手市のフライト環境等について、 地元の小・中学校で講話	横手市
2	森子大物忌神社 文化保存会 (由利本荘市) 会長 多田 厚 < 団 体 >	国指定史跡「鳥海山」を構成する「森子大物忌神社境内」一帯の、保全整備及び活用に向けた取組を行っている。 活動開始：平成 2 1 年から 7 年間 活動内容：①国指定史跡「鳥海山」を構成する「森子大物忌神社境内」一帯の保全整備等 ②鳥海山の歴史文化等を散策する「フットパス事業」への支援 ③転出した若い世代に対する「森子大物忌神社例大祭」への参加呼び掛け	由利本荘市

平成 2 7 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

番号	氏 名	事 情	
1	一般社団法人あきた 宇宙コンソーシアム (秋田市) 会長 小川 信明 < 団 体 >	能代宇宙イベントなどの開催により、宇宙教育の普及と科学技術系人材の育成を図っている。 活動開始：平成 1 7 年から 1 0 年間（前身の能代宇宙イベント協議会も含む） 活動開始：①宇宙関連活動を体験する「日本の宇宙開発大集合！『宇宙ホンモノ』体験！」 の開催 ②各大学・団体等のロケット打上げ実験の支援及び土地使用や実験実施のための 各種手続き・申請のサポート	企画振興部
2	サークル「山鳩」 (由利本荘市) 会長 野口 元 < 団 体 >	地域資源に光を当てたイベントの開催や大学生による地域活動の受入等を通して、地域外との交流を図り、地域の活性化に貢献している。 活動開始：昭和 5 4 年から 3 7 年間 活動内容：①地域ゆかりの映画を通じた映写会・交流会等の開催 ②大学生との農業体験等を通じた交流 ③一人暮らしの高齢者宅の除雪奉仕	由利地域振興局

平 成 2 6 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	大潟村年金受給者協議会 (大潟村) 会長 小玉 喜美雄 < 団 体 >	「桜と菜の花ロード」等の景観作物の育成管理を行い、大潟村の景観形成や観光振興に貢献している。 活動開始：平成4年から22年間 活動内容：①「桜と菜の花まつり」における、菜の花摘み取りコーナー開催及び会場や村内案内ボランティア活動の実施。 ②菜の花の栽培以外の景観作物の栽培、交通安全、清掃活動などの各種ボランティア活動の実践。	大潟村
2	久保田城址歴史案内 ボランティアの会 (秋田市) 会長 金光 龍夫 < 団 体 >	郷土の歴史的遺産である久保田城址（千秋公園）を訪れる県内外の方々に、歴史や文化、自然について、年間を通して無料で案内・紹介している。 活動開始：平成10年から16年間 活動内容：①秋田市姉妹提携を結んでいる茨城県常陸太田市との交流事業への参加及び長崎県大村市との交流活動への参加。 ②平成25年度はデスティネーションキャンペーンとタイアップして案内を実施。	秋田地域振興局

平成 2 5 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	あきた十文字映画祭 実行委員会 (横手市) 代表 小川 孝行 < 団 体 >	映画文化を通じた地域の魅力発信に県内でいち早く取り組み、過去 2 2 回に及ぶ映画祭開催を通じて、日本でも有数の映画イベントに育て上げた。 活動開始：平成 3 年から 2 2 年間 活動内容：①映画俳優、映画監督や脚本家によるトークショーやシネマフォーラム。 ②地域を舞台とした映画を自主制作し上映。 ③映画祭を活かした交流人口の拡大。	平鹿地域振興局
2	特定非営利活動法人 地産地消を進める会 (秋田市) 代表理事 谷口 吉光 < 団 体 >	地域の食のコミュニティを核にした地産地消運動を展開し、食農教育、有機農業、地域の絆の再生、コミュニティビジネス等に取り組んでいる。 活動開始：平成 8 年から 1 7 年間 活動内容：①食の安全を守り環境に配慮した農業の支援、有機農家のネットワークづくり。 ②「オーガニックフェスタ in あきた」の開催。 ③「あきた産デーフェア」の運営。	農林水産部
3	特定非営利活動法人 西滝沢子ども水辺協議会 (由利本荘市) 理事長 佐藤 金市 < 団 体 >	子吉川を活用し、旧西滝沢小廃校跡地の「水辺プラザ」を交流拠点として、地域住民と一体となった活動を展開し、地域の活性化を図っている。 活動開始：平成 1 5 年から 1 0 年間 活動内容：①アユの稚魚放流、クリーンアップなど、川を活用した環境教育の実施。 ②地域住民の交流を目的とした、春夏秋冬の季節毎のまつりの開催。 ③女性部が中心となった「水辺の市場」の運営。	由利地域振興局

平成 2 4 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	余目地域活性化対策 いきいき会議協議会 (大仙市) 会長 加藤 加一 < 団 体 >	余目の住民が持つそれぞれの特技を一戸一戸持ち寄り、直売所や農家民宿の運営、花火観賞会やホテル観賞会の開催など地域資源を活かした活動を展開することで、地域の活性化に寄与している。 少子高齢化、過疎化が進む県内において、集落や地域の活性化に取り組もうとする他の団体の良い参考事例となっている。 活動開始：平成16年から8年間 活動内容：①直売所「eーかげん（いいかげん）な父ちゃん母ちゃんの店」の運営 ②農家民宿「ほたる亭」の運営 ③余目さくら花火観賞会、ホテル観賞会の開催	仙北地域振興局
2	大正寺おけさ祭 実行委員会 (秋田市) 代表 横田 徳正 < 団 体 >	地域から消え去ろうとしていたハイヤ節系民謡「大正寺おけさ」の復活を機に、その保存継承に努め、28年間にわたり「大正寺おけさまつり」を開催し、地域活性化に貢献している。 “唄と踊りで地域興し”を図るため、皆が楽しめるように唄のアレンジや唄に合う踊りの創作、花火大会等多彩なプログラムの工夫などにより、県内外との交流の輪が年々拡大し、観光客は1万人を超える。 活動開始：昭和60年から28年間 活動内容：①伝統文化を核とした地域活性化への取組 ②伝統文化の特性を活かした交流人口の拡大	秋田地域振興局
3	矢島カップMt. 鳥海 バイシクルクラシック 大会実行委員会 (由利本荘市) 実行委員長 鈴木 清 < 団 体 >	「おもてなしの心」で、全国からの多数の方々を迎えることに力を入れるため、自転車競技会の実行委員会を立ち上げた。 受付や競技における安全対策の立哨員、ゴールでのおしぼり配布、スイカや昼食の提供など、ボランティアが大会全般を支え、盛り上げに尽力している。 実行委員会の下支えにより、本大会は、日本トップクラスのアマチュア選手や元オリンピック選手なども参加し、日本サイクリング協会が主催する全日本ヒルクライムシリーズ戦の1つとなっている。 活動開始：平成14年から10年間（11回開催） 活動内容：①矢島カップ Mt. 鳥海バイシクルクラシック大会の開催 ②鳥海高原や鳥海山の魅力を活かした交流人口の拡大	由利本荘市

平成 2 3 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	清流の会 (五城目町) 会長 金澤 幸則 < 団 体 >	旧杉沢小中学校の廃校舎の有効活用を図るとともに、映画「釣りキチ三平」ロケ地区の景観保全活動、山菜等の地域資源の活用や高齢者対応型農作物の試験栽培などに取り組んでいる。 県農山村活力向上モデル地区として、元気なムラづくりの先導的役割を果たしている。 活動開始：平成18年7月から5年間 活動内容：①地域固有の風景づくり等に向けた保全活動 ②地域資源を活用したムラおこしに係る活動	企画振興部
2	おおみちガレッジ通り (八郎潟町) 会長 江畠 節子 < 団 体 >	直売所としての活動に、高齢化等によるコミュニティ機能の低下など地域が抱える課題を解決するための取組を付加し、賑わいと交流の再生の場となっている。 一人暮らしの高齢者等のセーフティネットとして、孤独死や自殺予防対策の面でも重要な役割を果たしている。 当該団体の事業活動はコミュニティビジネスの代表的な事例となっており、県内の地域課題の解決に寄与している。 活動開始：平成13年から10年間 活動内容：①気軽におしゃべりや交流ができる「喫茶コーナー」、地域の食材を生かした「食堂」、パッチワーク等の教室も開催する「手作り工房」の設置 ②高齢者等の話し相手となって癒しの場を提供	秋田地域振興局

平成 2 2 年 度 特 別 表 彰 受 受 彰 者 名 簿

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	特定非営利活動法人 大曲花火倶楽部 (大仙市) 会長 賢木 新悦 < 団 体 >	毎年3月に、花火シーズンを先取りした形で新作花火の競技大会を開催し、大仙を花火の流行の発信地として内外にアピールしているほか、次代を担う全国の若手花火作家の技術の向上を図っている。 また、四季を通じた花火の提唱、「花火暦」の作成・配布等により、「大仙の花火」を広く情報発信している。 そのほか、「花火鑑賞士」認定試験の実施や「大曲花火屋」における花火に関する資料の展示など、花火を通じたまちづくりの推進や県の観光振興に大きく寄与している。 活動開始：平成3年から19年間（NPO法人設立から8年間） 活動内容：①新作花火の競技大会の開催 ②「花火暦」の作成 ③「花火鑑賞士」認定試験の実施	仙北地域振興局

平成 2 1 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	ルート103委員会 (鹿角市) 会長 湯瀬 政弘 < 団 体 >	平成20年に「森林セラピーロード」として県内で初めて認定された大湯中滝地区の散策路の整備をはじめとし、国道103号沿線周辺に点在する滝を車いすでも見学できるように整備するなど、観光資源の開発と保護に努めている。 滝、溪流等の景観のすばらしさを広く紹介するため、森林セラピーロードや滝の案内、滝めぐりツアーの実施など、地域の活性化に貢献している。 このような自主的、自発的な活動を通じて、観光客の受け入れ態勢の整備に大きく関わっており、地域経済と文化の振興に寄与している。 活動開始：平成2年から19年間 活動内容：①大湯中滝地区の散策路の整備 ②散策路や滝の案内、滝めぐりツアーの実施	鹿角地域振興局

平成 2 0 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	増田地域センター 運営協議会 (横手市) 会長 加藤 勝義 < 団 体 >	「増田の内蔵」に着目し、写真集「増田の蔵」を発刊。 発刊後の反響が大きく、「増田蔵の会」が発足し、「蔵の日」などの内蔵を利用した街づくり事業が始まった。 また、伝統芸能継承保存事業として、横手市増田民族芸能フェスティバルを開催。それをきっかけに「増田盆踊り保存会」が発足し、「盆踊りサミットIN増田」が開催された。 このように、地域の可能性を検証し、新たな視点で活動を構築しその活動が新たな活動への芽だしとなっている。 特に、増田の内蔵については、発刊以来全国的な話題となり、県南の観光振興の可能性を大きく広げる機会となった。 活動開始：平成14年度から7年間 活動内容：①写真集「増田の蔵」を発刊 ②横手市増田民族芸能フェスティバルを毎年開催	平鹿地域振興局

平成 1 9 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	秋田市木内音楽賞顕彰会 (秋田市) 会長 伊藤 由雄 < 団 体 >	民間による秋田県唯一の音楽賞として県内在住の個人・団体の「優れた演奏または地域音楽文化向上への貢献」に対し授与される『木内音楽賞』の運営や、日頃から県内各地の音楽活動に足を運んで情報収集し会報に調査報告を掲載するなど、本県音楽文化の振興を通じた彩り豊かな県民文化の創造に努めている。 また、平成15年には木内音楽賞制定25周年記念コンサートを開催し、本県の芸術文化の発展に大きく貢献している。 活動開始：昭和53年度から29年間 活動内容：①「木内音楽賞」の運営 ②県内各地での演奏会・各種コンクールの開催	生活環境文化部

平成 1 8 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	大館市たつみ町町内会 (大館市) 会長 三政 金男 < 団 体 >	毎月第一日曜日を町内一斉清掃日として、毎回50名以上の参加により、市道のクリーンアップや側溝の泥上げのほか、児童公園や町内緑地帯、空き地の除草作業等を行っている。 また児童公園に苗木を植樹したり、緑地帯に花壇を作ったりして、緑化の推進にも努めている。 さまざまな種類の花が植えられている花壇は、町民の憩いの場所となっている。 このような永年にわたる環境美化運動は他の町内会の模範となるものである。 活動開始：昭和51年度から30年間 活動内容：①町内の定期的清掃活動 ②児童公園、緑地帯4カ所の維持管理	生活環境文化部

平成 1 7 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	秋田市児桜新生町内会 (秋田市) 会長 長谷川 武 < 団 体 >	平成 6 年に地域の実態を把握しようと会員が町内を巡回して「安心・安全マップ」を作成したことに始まり、以降は地域内の声かけ運動やミニ広報誌の定期的な発行など、地域住民の意思疎通や小学校、駐在所、交通安全協会といった関係機関との連帯感に裏打ちされた活動を行っている。 活動開始：平成 6 年から 1 2 年間 活動内容：①定期的パトロールなどの防犯活動 ②自主防災組織結成による防災活動 ③高齢者の支援など地域住民の助け合い活動 ④家庭花壇奨励、樹木剪定など環境美化活動	生活環境文化部
2	大仙市大曲生活学校 (大仙市) 会長 泉谷 明子 < 団 体 >	昭和 4 5 年の開設以来、毎月第一火曜日を例会に設定し、地域にあった課題を見つけ、地域に根ざした様々な活動に取り組んでいる。 活動開始：昭和 4 5 年から 3 5 年間 活動内容：①高齢者の交通安全のための警察との対話集会 ②地場産品を使用した料理づくり ③ゴミ減量化キャンペーン ④資源回収海外協力ボックスの設置	生活環境文化部
3	秋田森の会・風の ハーモニー (秋田市) 代表幹事 佐藤 清太郎 < 団 体 >	「森と健康」をテーマに、高齢者から子どもたちまでの幅広い年齢層を対象に、代表幹事所有山林の一部を「健康の森」と名付け開放し、森林浴や自然観察、森林・林業体験などの活動を行っている。 活動開始：平成 3 年から 1 5 年間 活動内容：①植樹、炭焼き体験 ②自然観察、森林浴体験 ③秋田スギの枝打ちなどの林業体験 ④保育園・幼稚園児などの森林体験	農林水産部

平成 1 6 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	天王町立 天王南中学校 (潟上市) 代表 校長 大石 成子 < 団 体 >	平成4年の開校当初より省エネ運動に取り組み、アルミ缶リサイクル活動、紙のリサイクル運動、海水浴場のクリーンアップ等を実施し、生徒の環境保全活動の意識付けとなる活動を行っている。 アルミ缶リサイクル活動では、換金した収益で車椅子を購入し福祉施設や社会福祉協議会へ寄贈した。 このような生徒が主体となった活動は、地域の福祉や環境保全の普及向上に大きく貢献している。 文部省指定の「環境のための地球観測プログラム」モデル校の指定を受け、環境教育に対する高い評価を得ている。 活動開始：平成4年から13年間 活動内容：①アルミ缶リサイクル活動 ②省エネ運動 ③紙のリサイクル運動 ④「環境のための地球観測プログラム」モデル校	生活環境文化部
2	秋田港をキレイにする会 (秋田市) 代表 田村 進 < 団 体 >	平成元年の発足以来、秋田港内周辺の定期的なクリーンアップ活動を行っている。 冬期間を除き年9回のクリーンアップ、7月には会員約250人参加の秋田港一斉クリーンアップを実施し、港と地域の活性化に寄与している。 また、毎月2回の定期的なゴミ点検巡回パトロールの実施やチラシによる地域住民・釣り人に対する広報活動を行い、不法投棄防止等に努めているほか、小中学生の港見学の際には美化運動の学習をPRするなどの活動も行っている。 活動開始：平成元年から16年間 活動内容：①クリーンアップ活動 ②ゴミ点検巡回パトロール ③不法投棄防止・港内美化運動のPR	建設交通部

平成 1 5 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	青少年のための科学の祭典 秋田大会実行委員会 (秋 田 市) 代表 野越 三雄 < 団 体 >	青少年が実験や工作などの直接的体験を通じて科学に親しむ場を提供することを目的に、平成10年に秋田市で開催された全国「青少年のための科学の祭典」を機に発足した団体であり、以後毎年、同秋田大会を実施し、青少年の知的好奇心や探究心を育て、科学への夢を膨らませるための活動行っている。 また、14年度には、北東北3県の連携事業である「北東北青少年科学セミナー」と共催するなど、ますます活動の広がりを見せている。 このような実行委員会々員のボランティアによる自主的活動は、科学する心の育成や地域が支える青少年の健全育成の推進に大きく貢献している。 活動開始：平成10年から6年間 活動内容：「青少年のための科学の祭典秋田大会」の開催・運営 約40テーマ毎の観察・実験ブースでの体験	県教育委員会
2	大内町岩谷麓町内会 (由利本荘市) 会長 岡見 良治 < 団 体 >	平成3年から主要地方道本城岩城線の折渡千体地藏一体の道路・側溝の清掃を行い、翌4年からは通行するドライバーの心を和ませ、安全運転を祈念して「アジサイ」の植栽をはじめた。 その後、年10回程度、毎回住民50名以上が参加して清掃と沿道の除草作業活動が続けており、現在は「アジサイ」も千本を越え、「アジサイロード」として地域のシンボルとなるとともに、清掃や植栽で育まれた連帯感が地域活性化の源となっている。 このことが町内全域の清掃活動に広がり、住民参加による環境の保全の推進に大きく寄与している。 活動開始：平成3年から13年間 活動内容：①地域住民に道路沿線の清掃活動 ②道路沿線の「アジサイ」の植栽・維持管理	県建設交通部

平成 1 4 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	石川 俊平 (秋田市) < 個 人 >	○青少年のための自然観察会等の実施 自然と触れ合う体験を通して自然の仕組みを理解し、自然と人間との関係を見つめなおして、地球にやさしい21世紀を創造する子供たちを育成することを目的に、長年自然観察会や自然探検会の指導を献身的に行っているほか、平成5年からは、親子が楽しんで自然を学ぶ自然観察の機会を提供する民間団体「秋田ネイチャークラブ」を主宰し、今日まで70数回の観察会を実施するなど、地域が支える青少年の健全育成の推進に大きく寄与している。 活動開始：平成3年から12年間 活動内容：①自然観察講座「科学クラブ」の指導 ②自然観察の民間団体「秋田ネイチャークラブ」の主宰	県教育委員会
2	井川町横岡町内会 (井川町) 会長 小林 純一 < 団 体 >	○地域住民総参加による環境保全活動 平成3年に毎月第3日曜日を奉仕作業の日と決めて子供から老人まで地域ぐるみで道路沿いの清掃や除草活動を始めたことを皮切りに、ごみの減量化や環境学習の自主的開催など、地域住民一人ひとりが環境の重要性を認識し、参加と協働により環境に配慮した取り組みを自主的かつ積極的に実践しており、県民参加による環境の保全の推進に大きく寄与している。 活動開始：平成3年から12年間 活動内容：①地域全戸に排水対策のための沈殿槽設置 ②環境美化活動 ③リサイクル活動	生活環境文化部

平成 1 3 年 度 特 別 表 彰 受 彰 者 名 簿

番号	氏 名	事 績	推 薦 者
1	今野 庄蔵 (大仙市) < 個 人 >	○海外技術研修員の受け入れ及び青少年の人材育成 国際理解と国際協力の推進を図るため、海外技術研修員の受け入れや青少年が開発途上国で生活体験を行う海外ツアーに引率ボランティアとして参画し国際感覚を養う青少年の人材育成に力を注いでいる。 また、秋田県海外技術協力会等の役員をつとめ、国際交流の推進に大きく寄与している。 活動開始：平成元年から 1 3 年間 活動内容：①海外技術研修員の受け入れ ②海外研修引率ボランティア ③国際交流団体の役員として活動	生活環境文化部
2	本荘少年少女発明クラブ (由利本荘市) 代表 田口 恒夫 < 団 体 >	○ものづくり活動の実施 子ども達の科学に対する興味や関心を高め、科学する喜びと心を育むため、ものづくり活動を行い、県民の科学する心を育てる運動の推進に大きく貢献している。 活動開始：昭和 5 9 年から 1 8 年間 活動内容：ものづくり活動の実施	県教育委員会